和歌山県人会
世界大会

Wakayama Kenjinkai World Conference 2019

和歌山県

目　　次

開催概要・・・

◆◇「和歌山県人会世界大会」開催概要◆◇

～海外・県外の県人が一堂に会し、ふるさとを離れた方々の郷土への誇りを高め、県民との相互交流と県民の移民の歴史に対する理解を深める機会を創出～

○記念式典・記念コンサート

日　時：令和元年１１月２４日（日）１６：００～１８：００
会　場：和歌山県民文化会館　大ホール
内　容：開会宣言、国歌・和歌山県民歌斉唱（和歌山児童合唱団）、主催者・来賓挨拶、参加県人会の紹介、県人会への顕彰楯贈呈、県人会代表挨拶、大会宣言、合気道「植芝盛平」の紹介及び演武、移民の歴史紹介映像上映、記念コンサート
※出演 宮沢和史、大城クラウディア、星林高等学校吹奏楽部、和歌山児童合唱団
※ウェルカム演奏（大ホールロビー）：和歌山琴美国際交流合奏団
参加者：一般参加者、来賓等を含め、約２，０００人

○歓迎レセプション

日　時：令和元年１１月２４日（日）１８：３０～２０：３０
会　場：ホテルアバローム紀の国　２階　鳳凰の間
内　容：開会挨拶、来賓挨拶、県人会代表挨拶、鏡開き、乾杯、参加県人会によるパフォーマンス、県人会代表謝辞
参加者：海外県人会、国内県人会、来賓等　約６５０人

○和歌山県人会長会議

日　時：令和元年１１月２４日（日）１２：００～１３：００
会　場：ホテルアバローム紀の国　４階　せせらぎ
内　容：大会宣言の採択および意見交換
出席者：海外県人会長、国内県人会長、（公財）和歌山県国際交流協会他

○和歌山体験ブース

日　時：令和元年１１月２４日（日）１４：００～１５：３０
会　場：ホテルアバローム紀の国　３階　孔雀の間
内　容：和歌山が誇る伝統文化、食文化を海外県人会の参加者が体験
対　象：海外県人会

○ふるさと巡りツアー

日　時：**令和元年１１月２５日（月）～１１月２７日（水）**

概　要：和歌山県人会世界大会に参加する海外の県人会員が、３コースに分かれて県内各地を訪問する。縁故者、地域住民、国際交流団体等からの歓迎を受け交流を図るとともに、和歌山県が誇る豊かな自然に触れ名所旧跡を訪れる。加えて、高等学校等における県人会員のスピーチや懇談などを通じて、次世代を担う青少年に対し、移民の歴史と世界を知ることの大切さを伝える。

【紀北コース（参加者５６名）】

和歌山市、湯浅町、日高川町、高野町、九度山町、紀の川市

１１月２５日（月）	午前	湯浅醤油（有）、道成寺見学
	午後	開智高等学校訪問 （校内見学、グループ座談会）
１１月２６日（火）	午前	高野山訪問 （壇上伽藍、金剛峯寺表敬訪問、奥之院）
	午後	道の駅くどやま訪問
１１月２７日（水）	午前	駿河屋工場見学
		わかやま南北アメリカ協会との交流会 （会場：ダイワロイネットホテル和歌山）
	午後	青洲の里視察

【紀中コース（参加者４６名）】

美浜町、御坊市、日高川町、白浜町、田辺市、海南市

１１月２５日（月）	午前	美浜町三尾地区訪問 （カナダミュージアム見学、民謡おどり体験等）
	午後	日高高等学校訪問 （講演会、交流会）
		地元歓迎会・夕食会（美浜町、日ノ岬・アメリカ村等主催） （語り部ジュニアによる発表、パフォーマンス披露等） （会場：旧三尾小学校）
１１月２６日（火）	午前	三段壁洞窟、千畳敷見学
	午後	とれとれ市場視察
		中田食品工場見学
１１月２７日（水）	午前	道成寺見学
	午後	蒔絵塗体験（会場：うるわし館）

【紀南コース（参加者１７１名）】

和歌山市、白浜町、串本町、那智勝浦町、新宮市

１１月２５日（月）	午前	智辯学園和歌山高等学校訪問 （講演会）
	午後	三段壁、千畳敷見学
		中南米県人会長シンポジウム（和歌山県中南米交流協会主催） 歓迎交流会（会場：むさし）
１１月２６日（火）	午前	串本海中公園見学
	午後	橋杭岩見学
		那智山見学
		歓迎交流会（会場：かつうら御苑）
１１月２７日（水）	午前	太田の郷施設見学 那智勝浦町主催交流会 （会場：太田小学校体育館）
	午後	熊野速玉大社参拝
		新宮市主催交流会 （会場：新宮市役所別館）

和歌山県人会世界大会　大会宣言

『和に集う。』
～ルーツはずっとここ、和歌山～

この度、ふるさとを同じくする和歌山県人がここに集い、和歌山県人会世界大会が初めて開催されました。

和歌山県への思いを共有し、家族のような交流を続けている県人会は、私たちの心のよりどころとしてかけがえのない存在です。

これからも県人会の活動がより盛んとなり、さらに次世代へと継承するため、県民の皆さんとの交流や、県人会相互の交流を深めることが重要であると認識しています。

和歌山県人会世界大会を通じて、移民の歴史を共有し、和歌山県人すべての人々が、将来への活力を増し、ふるさとへの誇りと自信を深めることができました。同じふるさとを持つ仲間と手を携え、そのつながりを育み、大切にすることを確認し、次のことを宣言します。

１．同じふるさとを持つかけがえのない仲間である県人会のつながりとその価値をさらに発展させ、次の世代へ継承する。

２．和歌山県と県人会、県人会同士の理解と交流を推進するため、そのつながりを大切にし、さらに深めていく。そのために、和歌山県人会世界大会を定期的に開催する。

３．私たちの住む国と地域、そして、ふるさと和歌山県の発展に貢献できるよう、文化、観光、経済など様々な分野で活発な交流を行う。

２０１９年（令和元年）１１月２４日

和歌山県人会世界大会
参　加　者　一　同

参加県人会一覧

県人会名	代表者名	参加者数
アルゼンチン和歌山県人会	里信　ビビアン　百合子	８人
ブラジル和歌山県人会	谷口　ジョゼー　眞一郎	５０人
東部カナダ和歌山県人会	後出　吉之	４５人
メキシコ和歌山県人会	木村　裕次郎	４８人
パラグアイ和歌山県人会	松宮　アンヘル	５人
ペルー和歌山県人会	サトウ　ネッダ	７１人
南加和歌山県人会	有地　敏廣	４０人
シアトル紀州クラブ	佐々木　清野　タヅ卫	８人
韓国紀州の会	福田　和真	２人
ニューヨーク和歌山県人会	岩上　裕	１人
在京和歌山県人会	谷口　博昭	１０人
東海和歌山県人会	塩地　隆三	２０人
京都和歌山県人会	川口　直也	１０人
大阪和歌山県人会	佐竹　和彦	３４人
堺和歌山県人会	亀谷　忠夫	１８人
神戸和歌山県人会	鍵　正人	１７人

海外県人会等２８０人（カナダ・リッチモンド州参加者を含む)、
国内県人会等１６８人

会場・受付

記念式典会場　県民文化会館

ウエルカム演奏　和歌山琴美国際交流合奏団

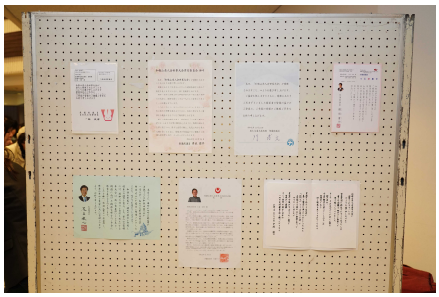
パネル展

「移民と歴史」（和歌山県）

「マチュピチュ村を開いた男　野内与吉とペルー日本人移民の歴史」

「和歌山県出身日系人写真家　エウロヒオ・ニシヤマ氏写真展」

（一般社団法人野内与吉資料館、日本マチュピチュ協会）



運営サポート

和歌山県商工会議所青年部連合会、青年会議所近畿地区和歌山ブロック協議会

オープニング

開会宣言

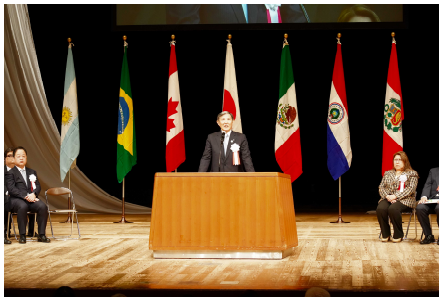
南加和歌山県人会　エリカ・ピッチャーさん
ペルー和歌山県人会　アレハンドロ・カランサ・ボネリさん
ファンファーレ演奏　和歌山県立星林高等学校吹奏楽部

国歌・県民歌斉唱

和歌山児童合唱団

主催者挨拶

仁坂吉伸　和歌山県知事



来賓挨拶

中山展宏　外務大臣政務官

二階俊博　衆議院議員

石田真敏　衆議院議員

世耕弘成　参議院議員

鶴保庸介　参議院議員

お祝いのメッセージ

春日野清隆　様

坂本冬美　様

参加県人会の紹介

アルゼンチン和歌山県人会

ブラジル和歌山県人会

東部カナダ和歌山県人会

メキシコ和歌山県人会

パラグアイ和歌山県人会

ペルー和歌山県人会

南加和歌山県人会

シアトル紀州クラブ

韓国紀州の会

ニューヨーク和歌山県人会

在京和歌山県人会

東海和歌山県人会

京都和歌山県人会

大阪和歌山県人会

堺和歌山県人会

神戸和歌山県人会

演奏：和歌山県立星林高等学校吹奏楽部

県人会への顕彰楯贈呈

県人会代表挨拶

谷口ジョゼー眞一郎　ブラジル和歌山県人会長

大会宣言

メキシコ和歌山県人会　テラモト・トシオさん
パラグアイ和歌山県人会　アヤラ・ビクトリアさん

合気道「植芝盛平」の紹介と演武

移民の歴史紹介映像上映

記念コンサート

- 宮沢和史さん、大城クラウディアさん、星林高等学校吹奏楽部、和歌山児童合唱団
- 最後は県人会の方々も、子供たちのメッセージのこもったマラカスを手に登壇し、感動のフィナーレとなりました。

～和歌山県人会世界大会　記念式典挨拶～

和歌山県知事　仁坂　吉伸

本日は、和歌山県人会世界大会の記念式典を催しましたところ、世界中から、日本各地から、そして和歌山県内から、このように大勢の方々にお越しいただきまして、主催者の一人として心から御礼申し上げます。

また、御来賓の皆様につきましても、この世界大会に御臨席のうえ開催を祝っていただけることに、本当に心から敬意を表し、感謝を申し上げたいと思います。

さて、和歌山県は、地理的に海に面しているところでございます。私たち和歌山県民は、その外の和歌山県以外のところに、常に開かれた世界を意識して育ってまいりました。したがって、徒手空拳で海外に移民として行かれた方々もたくさんいらっしゃるし、国内においても青雲の志に燃えて各地で活躍しておられる方がたくさんいらっしゃいます。海外に行かれた方は、当初大変な御苦労をされて今日の地位を築かれ、子孫を残されています。そして、それぞれの国で尊敬され、立派に生活を送っておられる方々です。また、日本各地で御活躍の方々も、「和歌山県人ここにあり」と思っておられることと存じます。

これまで、私たちは、世界の県人会の周年行事に手分けして参加をさせていただくとともに、日本全国の県人会の行事にもできるだけ参加をさせていただいてまいりました。どんなに成功し、どんなに頑張ってこられても、思うのは「ふるさと」のことであるとすれば、私たち和歌山県人の方も皆様の活躍を誇りとし、その力をエネルギーに変えて頑張っていかなければならないという思いでずっと参加してまいりました。

しかし、今回ここに、県人会の皆様に一堂に集まっていただきました。それぞれの交流を通じ和歌山県人のエネルギーを全世界に精一杯発信したいと考え、この和歌山県人会世界大会を開催しました。

御来賓としては、外務省からも政務官をはじめ多数の皆様が御臨席くださいました。日本の政界をリードしておられる二階自由民主党幹事長、参議院の幹事長として活躍されている世耕議員、総務大臣として活躍された石田衆議院議員、実はこの世界大会を最初に私たちに提案してくださった鶴保参議院議員をはじめ、多くの皆様が出席しておられます。外務省の皆様を除いて、全て和歌山県人でいらっしゃいます。そういう皆様が、日本でも世界でも活躍しておられ、今回は一堂に集まって記念式典を開催しているところでございます。

和歌山県は今年様々な行事がございまして、少し前に「ねんりんピック紀の国わかやま 2019」を開催しました。全国から 1 万人くらいの高齢のアスリートをお迎えしました。その開会式で、歌手の坂本冬美さんに歌っていただいたのが、『ただいま故郷（ふるさと）』です。この大会に参加された皆様のお気持ちに添えて、1 番だけ朗読させていただきます。

「ひと目百万 香りは十里 梅の花咲く 紀の国の なつかしい駅に降り立てば 春が手招き してくれる 初恋 想い出 友の顔、ただいま故郷（ふるさと） あゝ故郷」

皆様、どうもありがとうございました。

＜引用＞
上富田町イメージソング「ただいま故郷（ふるさと）」　作詞：喜多條 忠

和歌山体験ブース

１１月２４日（日）　１４：００−１５：３０

梅ジュースづくり体験

定員27人×2回＝54人（約30分）
①14:00〜14:30 ②15:00〜15:30
和歌山県特産の梅を使い梅ジュース作り体験が出来ます。梅と砂糖を使い誰でも簡単に作り方を学べます。体験ブースでは、梅ジュースのミルク割り、ソーダ割り、水割の試飲が出来ます。

フルーツカッティング体験

定員18人×3回＝54人（約30分）
①14:00〜14:30 ②14:30〜15:00
③15:00〜15:30
身近なフルーツを美しくおしゃれに切る技法を学べます。フルーツカッティングを教えている先生がフルーツの切り方、テクニックを優しく分かりやすく教えます。フルーツ王国の和歌山県でフルーツカッティングの体験をしてみて下さい。

香の護符おまもりづくり体験

定員20人×2回＝40人（約40分）
①14:00〜14:40 ②14:50〜15:30
古くから仏教で使われていた香木を使ってあなただけのお守りを作っていただきます。この体験では、高野山発の塗香のお守りを作っていただけます。出来上がったお守りは一年間、あなたの健康と幸福をサポートしてくれます。

紀州てまりづくり体験

定員30人（約90分）　14:00〜15:30
てまりは、日本の伝統工芸品です。和歌山県で作られている「紀州てまり」は、昔から結婚のお祝いに贈る習慣があり縁起物とされています。「紀州てまり」を実際に刺繍（一部分）して完成させていただく体験です。

和菓子づくり体験

定員36人×2回＝72人（約45分）
①14:00〜14:45 ②14:45〜15:30
和菓子の美しい見た目と上品な甘さは、古くから日本人に愛され続けています。和歌山城近くにある和菓子屋「紫香庵」の職人が、わかりやすく教えてくれますので和菓子作りが初めての方でも気軽にご参加いただけます。

醤油づくり体験

定員30人×2回＝60人（約45分）
①14:00〜14:45 ②14:45〜15:30
日本の伝統調味料である醤油は、日本古来の先人の知恵で作られ、守り継がれてきた発酵食品です。日本の醤油発祥地、湯浅地方の醤油作り体験が出来ます。ペットボトルで簡単に自分だけのマイ醤油を作って、お持ち帰りいただきます。

茶道体験　先着200名　13:00〜（会場：2階 ギャラリー龍門）

茶道は、日本の伝統的な芸道の一つです。くつろげるスペースでお茶やお菓子をいただき、心を和らげて茶会の雰囲気を楽しむことが出来ます。旅の疲れを癒せるように、日本のお茶でおもてなしいたします。

山椒の石臼挽き実演　先着200名（おみやげを用意）14:00〜

山椒とは、東アジアと日本が原産とされる植物です。さわやかな芳香とビリビリ痺れる辛味に特徴があり、焼き鳥などの薬味、最近ではスイーツにも使われます。山椒を石臼で挽く様子を見学出来て、お土産（山椒の小袋）をお配りします。

＜展示コーナー＞

紀州てまり、梅・醤油パネルなどを展示する予定です。どうぞご覧下さい。

平安衣装体験　定員なし（女性限定）　14:00〜

平安衣装とは、平安時代（西暦794年ころ）に女性貴族が着ていた衣装です。当時の人は平安衣装に身を包み、世界遺産の熊野古道を寺社参詣の旅をしました。このブースでは平安衣装を着て写真を撮ることが出来ます。

体験ブース会場の様子

会場：アバローム紀の国

受付には多くのボランティアが参加

多くの参加者で大盛況

展示コーナー

展示コーナー

展示コーナー

和歌山体験ブース

1　梅ジュースづくり体験

2　フルーツカッティング体験

３　香の護符おまもりづくり体験

４　紀州てまりづくり体験

5　和菓子づくり体験

6　醤油づくり体験

7　山椒の石臼挽き実演

8　茶道体験

９　平安衣装体験

＜出展を終えて　～出展者さんの声～＞

○ **醤油づくり体験　湯浅醤油　新古敏朗さん**

　しょうゆブースの皆様に喜んでいただき嬉しかったです。今頃、発酵していると思いますので、楽しんで醤油づくりしてくれていたら幸いです。

○ **梅ジュースづくり体験　ＪＡ紀南　下岡三穂さん**

　去年ロスのスーパーマーケットでの和歌山フェアでお会いした方が梅ブースに来ていただいていました。（今年もアメリカで和歌山県人会の皆様とお会いする予定です。）感動しました！第二回の開催も楽しみにしています。

○ **香の護符おまもりづくり体験　紀州高野山横笛の会　佐藤妙泉さん**

　大変いい経験となりました。手伝ってくれたボランティアさんが機転をきかして、通訳や作業補助にと大活躍してくださり、大変助かりました。とても貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。

○ **フルーツカッティング体験　新谷睦子さん**

　とても盛大な場所でのフルーツカットさせていただき、ありがとうございました。とても楽しい時間を過ごすことができました。フルーツ王国和歌山の果物 PR を頑張るパワーとなりました。

歓迎レセプション

主催者歓迎挨拶：岸本健　和歌山県議会議長

来賓挨拶：岸本周平　衆議院議員

来賓挨拶：浮島智子　衆議院議員

来賓挨拶：アントニオ・ミランダ
在名古屋ペルー総領事

歓迎レセプション

県人会代表挨拶：
サトウ・ネッダ
ペルー和歌山県人会会長

鏡開き

乾杯：勝本僖一
和歌山県商工会議所連合会会長

和歌山の郷土料理でおもてなし

歓談

歓談

歓迎レセプション

歓談

歓談

歓談

歓談

歌唱：宮沢和史さん（元 THE　BOOM）
大城クラウディアさん（アルゼンチン和歌山県人会）

県人会代表謝辞：谷口博昭
在京和歌山県人会会長

歓迎レセプション

メキシコ和歌山県人会のみなさん

尺八演奏：響盟・リベイロさん
ブラジル和歌山県人会

歌唱：シンティア・モリサキさん
ペルー和歌山県人会

歌唱：ミリアン・スカールさん
ペルー和歌山県人会

歓迎レセプション

県人会紹介ムービー上映　　南加和歌山県人会

県人会の垣根を超えた交流

～和歌山県人会世界大会　レセプション挨拶～

和歌山県議会議長　岸本　健

和歌山県人会の皆様、こんばんは。和歌山県議会議長の岸本健でございます。

本日、「和歌山県人会 世界大会」が、多くの方々のご参加の下、盛大に開催されましたこと、県議会を代表いたしまして、心からお祝いを申し上げます。

ふるさと・和歌山において、本県ゆかりの県人会の皆様と、こうして お目にかかる機会を得ましたこと、本当に嬉しく思っております。

皆様方には、それぞれの地域において、和歌山とは違う環境の中、幾多の困難に直面しながら ひとつひとつ着実に乗り越えられた、そのご努力に深く敬意を表します。

また、和歌山を母なる故郷と想い、お慕いいただき、それぞれの地域との友好交流に、ひとかたならぬご尽力を賜っておりますことに、重ねて心から感謝申し上げます。

ご承知のとおり、今後は、IR の誘致やロケット発射場の整備、また、全国的なイベントの開催など、ふるさと・和歌山が舞台となる、夢のある事業が数多く予定されています。

私ども県議会といたしましても、皆様の想いを片時も忘れることなく、和歌山を元気にする施策に、しっかりと取り組んでまいりますので、皆様方におかれましても、変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、全ての和歌山県人会のご発展と、関係の皆様方のますますのご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

和歌山県人会長会議

大会宣言の採択、県の取組紹介、各県人会の課題等について意見交換を行いました。

挨拶：下宏　和歌山県副知事

挨拶：樫畑直尚
（公財）和歌山県国際交流協会理事長

サロン・デ・県人会

和歌山の銘菓や飲み物を楽しみながら、各県人会員同士の交流が行われました。

ふるさと巡りツアー　紀北コース

１１月２５日
　湯浅醤油
　道成寺
　開智高等学校（交流会）
１１月２６日
　高野山視察（壇上伽藍・金剛峯寺・奥の院）
　道の駅柿の郷くどやま
１１月２７日
　総本家駿河屋工場見学
　わかやま南北アメリカ協会との交流会
　青洲の里

１１月２５日

湯浅醤油を訪問。醤油テイスティングを楽しむ

道成寺を訪問。宝佛殿を拝観した後、小野住職の絵解き説法に聞き入る

ふるさと巡りツアー　紀北コース

和歌山市に戻り開智高等学校を訪問。グループに分かれて高校生との交流を楽しむ。

１１月２６日

金剛峯寺国際局の案内で壇上伽藍を参拝した後、高野山高校生と奥の院を散策

１１月２７日

総本家駿河屋工場　　わかやま南北アメリカ協会主催昼食会で親交を深める

青洲の里では幼稚園児からかわいい歓迎をうける

ふるさと巡りツアー　紀中コース

１１月２５日
美浜町三尾地区訪問
日高高等学校訪問（講演会、交流会）
三尾地区歓迎会、夕食会（主催：美浜町、ＮＰＯ日ノ岬、アメリカ村）
１１月２６日
三段壁・千畳敷見学
とれとれ市場視察
中田食品工場見学
１１月２７日
道成寺見学
蒔絵塗体験

１１月２５日

住民総出でお出迎え

三尾地区での記念撮影

地元の皆さんとの交流

日高高等学校訪問

生徒との交流会

三尾地区での地元歓迎会

踊り「ワンダフルカナダ」

歓迎夕食会

住民によるおもてなし

ふるさと巡りツアー　紀中コース

１１月２６日

三段壁前での記念撮影

三段壁洞窟の見学

千畳敷の見学

中田食品工場見学

中田食品工場見学

中田食品工場での記念撮影

１１月２７日

小野住職による絵解き説法

道成寺宝佛殿の見学

道成寺での記念撮影

蒔絵塗体験

ふるさと巡りツアー　紀南コース

１１月２５日

智辯学園和歌山高等学校訪問・講演会開催

三段壁・千畳敷見学

中南米県人会会長シンポジウム（主催：和歌山県中南米交流協会）

１１月２６日

串本海中公園・橋杭岩・那智山見学

歓迎交流会

１１月２７日

那智勝浦町歓迎交流会

新宮市歓迎交流会

１１月２５日

智辯学園和歌山高校訪問

生徒による歓迎アトラクション

海外県人会による講演

三段壁の見学

千畳敷の見学

シンポジウムの開催

和太鼓演奏

歓迎交流会

歓迎交流会

ふるさと巡りツアー　紀南コース

１１月２６日

串本海中公園見学

橋杭岩見学

那智山見学

歓迎交流会

歓迎交流会

まぐろの解体ショー

１１月２７日

太田小学校生徒による和太鼓演奏

郷土料理を堪能

地元児童からのメッセージ

速玉大社見学

盆踊り体験

歓迎交流会

一般参加者募集チラシ

ふるさと和歌山観光名所　２デイフリーパス

来県する和歌山県人会員に、和歌山県の観光資源に対する理解を深めていただくため、「ふるさと和歌山観光名所　２デイフリーパス」を作製、交付した。

11 月 23 日及び 11 月 24 日にパスを利用することにより、和歌山城、わかやま歴史館、和歌山県立近代美術館及び和歌山県立博物館に無料で入場できる。

おもてなしバッグ及び歓迎レセプションへの企業協賛

摘　要	品物	協賛企業
おもてなしバッグ	生姜丸しぼり　Wakayama Ginger Ale	JAわかやま
	飴（みかんちゃん・和歌山みかん飴）	川口製菓（株）
	梅干(勝喜梅　梅おもひ（はちみつ仕立て）２粒（箱入り）	（株）勝喜梅
	ＪＯＩＮみかん	和歌山県農業共同組合連合会
	みかん	JAありだ
	黒飴　那智黒	（株）那智黒総本舗
	ドライフルーツ南高梅	ＪＡ紀南
	紀州産南高梅　梅と塩（タブレット）	マルヤマ食品（株）
	ミックスあられ（８５ｇ）	増田米菓（株）
	熊野の香りチョコレート	（株）エムアファブリー
	キクロンA　キッチン用スポンジたわし	キクロン（株）
	金鳥の渦巻１０巻	大日本除虫菊（株）
	洗顔料/ミニボディタオルセット	花王（株）和歌山工場
	クリアファイル・３色ボールペン	日本製鉄（株）
サロンデ県人会	ＪＯＩＮみかん	和歌山県農業共同組合連合会
	かげろう、柚子もなか	（株）福菱
	和歌浦せんべい	総本家駿河屋
レセプション	柿（富有柿）・柿酢飲料	JA紀北かわかみ
	味付け海苔	（株）北畑海苔店
	金山寺味噌	湯浅醤油（有）
	和歌山の地酒　１２種	和歌山県酒造組合連合会
	和歌山の本格梅酒　７種	本場紀州産梅酒の会
	車坂山廃純米大吟醸	（株）吉村秀雄商店

おもてなしバッグ

ボランティア協力

和歌山大学、信愛大学、JICA ボランティア、国際交流団体から５２名が英語・スペイン語・ポルトガル語通訳および参加者の交流をサポートした。

また、和歌山県商工会議所青年部連合会、青年会議所近畿地区和歌山ブロック協議会から２１名が記念式典等の大会運営のサポートを行った。

マラカスにおかえりなさいのメッセージを込めて(移民史理解出張講座)

白浜町立富田小学校及び紀の川市立中貴志小学校にて、和歌山県の移民の歴史を講義し、小学生にマラカスに「おかえりなさい」のメッセージを記入してもらい、記念コンサートでの演出に使用した。

白浜町立富田小学校での様子

紀の川市立中貴志小学校での様子

報道資料

絆　ふるさとで確かめ合う

県人会世界大会初開催　2000人参加

県出身移民の子孫ら和歌山ゆかりの人たちが世界中から集う、初めての和歌山県人会世界大会の記念式典が24日、和歌山市の県民文化会館で開催された。ペルーやブラジル、米国などにある海外県人会からの約280人と、一般参加者らを合わせて約2千人が参加し、ふるさとを通した絆を確かめあった。

式典では、県出身移民の功績などが紹介された。県人会を代表し、ブラジル県人会の谷口ジョゼ真一郎会長(77)が「過酷な環境にもかかわらず、県人と子孫は一生懸命努力した。県とのつながりを、末永く守っていきたい」とあいさつした。

この日、市内の別の会場で、紀州手まりやしょうゆ作りといった、和歌山の伝統文化を体験するブースが設けられた。手まりづくりを体験したムツコ・トルーディ・ヨシダさん(80)はカナダからやってきた日系2世。父が県出身という。「手まりづくりは難しいけどおもしろかった。会の後に、みなべ町に住んでいるいとこと会うのが楽しみ」と話した。

（藤野隆晃）

県人会を代表してあいさつする、ブラジル県人会の谷口ジョゼ真一郎会長＝県民文化会館

紀州手まりづくりを楽しむ参加者＝和歌山市湊通丁北2丁目

朝日新聞　１１月２５日付

「古里とのつながり守る」

初の県人会世界大会　9カ国450人一堂に

県人会世界大会で、紹介を受けてアピールする会員（24日、和歌山市で）

県外へ移住した人々や子孫らが一堂に集まる、初の「和歌山県人会世界大会」が24日、和歌山市の県民文化会館であった。国内を含め9カ国の県人会員約450人が出席、交流を深め、古里和歌山県とのつながりを守っていくことなどを約束した。

県や県教育委員会、県商工会連合会、県国際交流協会などでつくる「県人会世界大会実行委員会」（主催、外務省と国際協力機構（JICA）、和歌山大学、海外日系人協会）が後援した。

参加した県人会は「南加県人会」「シアトル紀州クラブ」「東部カナダ県人会」「メキシコ県人会」「ペルー県人会」「ブラジル県人会」「パラグアイ県人会」「アルゼンチン県人会」など8カ国11団体約280人、国内は「在京県人会」「東海県人会」「京都県人会」「大阪県人会」「堺県人会」「神戸県人会」など17団体約170人。出身の国会議員、市町村長、県議、県内各団体関係者らも出席した。

式典では、仁坂吉伸知事が「世界や日本で活躍している和歌山県人が一堂に集まった。交流を通じて、さらに全世界に県人のエネルギーを発揮してほしい」とあいさつ。各地域での活動で、県に貢献したとして、各県人会の代表に顕彰盾を贈呈した。

父がかつらぎ町、母が紀の川市出身の日系2世、谷口ジョゼ眞一郎・ブラジル県人会会長（77）が各県人会を代表し、「初代の移民から100年余りたち、戦前移民はすべて他界した。代わりにわれら2世、3世が県人会の運営に関わり、和歌山県とのつながりを末永く守っていきたい」と謝辞を述べた。

父方がみなべ町にルーツがあるメキシコ県人会所属の日系4世、寺本トシオさん（37）ら、母方が和歌山市にルーツがあるパラグアイ県人会所属のアヤラ・ビクトリアさん（30）が「私たちの住む国や地域と古里和歌山県の発展に貢献するため、さまざまな分野で活発に交流する」などと大会宣言した。

田辺市の真砂充敏市長による同市出身の合気道開祖・植芝盛平についての紹介や、合気道の演武の披露があったほか、移民の歴史映像の上映もあった。

式典終了後、ブラジル県人会の谷口会長は「ルーツを誇りに思い、父からいろいろな言語が異なっていても、和歌山の昔話を聞いていた。和歌山の皿を分かちあっているのですぐ親しくなれる。これから先も世界大会の開催を期待している」とコメント。

元国土交通事務次官で和歌山市出身の谷口博昭・在京県人会会長（71）は「これを機会に一層交流を深めながら、古里和歌山にお少しでも貢献できれば」と思う。今後も節目節目に交流の機会をつくっていたければうれしい」と話した。

25日からは県内3コースに分かれ、3日間の予定で「ふるさと巡りツアー」を実施している。

紀伊民報　１１月２６日付

交流の大切さ確認

白浜 中南米の日系人らシンポ

県民や出身者でつくるメキシコ文化の県人会の代表らが各国での日系人の状況や県人会の活動内容などを報告した。日本語教室の講演会を開いた。県内にルーツを持つ中南米の日系人が集まって各県人会の現状や課題などを話し合い、交流の大切さを確認した。

和歌山市で23日にあった県人会世界大会（実行委員会主催）の関連事業で、JICA関西が県と紀伊民報後援でシンポジウムには約50人が参加し、一中南米・多文化社会を生き抜いたパイオニアたち―未来への連携に向けた語り」をテーマに語り合った。

ブラジル県人会の谷口ジョゼ員一郎会長やペルー県人会の斎藤カルロスさんらのほか、パラグアイやアルゼンチン、ブラジルのリンゴの約7割の生産し、個人のリンゴ農家として高齢化を迎えたことに地元花開いたりんご」（ふじ）と初の半生と題し講演した。

司会を務めた和歌山大学の東裕子教授が県人会の課題として高齢化を挙げたことに触れ、「日本語教室の講師をされている県人会も同じ」と話した。

シンポジウムの前には、田辺三栖地区出身の平上文雄さん（70）が「ブラジルの大豆」と題して講演した。

東教授は「ルーツの地に思いを寄せて交流を続けることは必要。移住した人の歴史や日系人社会の状況を日本の中南米の次世代に伝えることも重要だと思う。各国の県人会が新しい絆をつくり、国を越えて県人会同士が交流することが必要性を訴える意見が出た。

ブラジルの日系人の現状や課題などを話し合う中南米の和歌山県人会の代表ら（25日、白浜町で）

紀伊民報　１１月２７日付

ブラジル移住の体験語る

みなべ出身 谷口さん 清川小と高城中で

みなべ町清川出身で、昭年前に家族でブラジルに移住した谷口史郎さん（79）が11月23日、町内の清川小学校と高城中学校で、子どもたちに移住や開拓の体験談を語った。谷口さんはこどもたちに「私は勉強をできなかったことが一番残念。君たちは、大きな夢になるのを勉強をしっかりして、世界に羽ばたいてほしい」と励まし、将来の活躍を期待した。

清川小学校の児童にブラジル化の体験を話す谷口さん（みなべ町清川で）

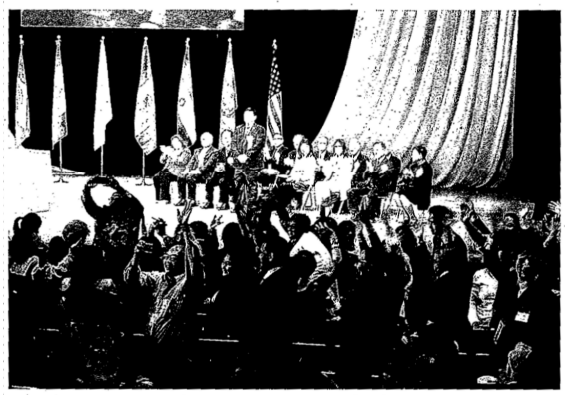
異国で友思い出す

谷口さんの父は、谷口文太郎・元南川村長。移住の父といわれる田辺東洋氏出身のへ。きっかけは、「無謀に入った船に乗ってブラジルへ、サンパウロ市へ。当時、船からチャレンジ精神からだった。無謀に入った船に乗ってブラジルへ、サンパウロ市へ。当時、船からチャレンジ精神からだった。

谷口さんの父は、谷口文太郎・元南川村長。移住の父といわれる田辺東洋氏出身のへ。きっかけは、「無謀に入った船に乗ってブラジルへ、サンパウロ市へ。当時、船からチャレンジ精神からだった。

「古里との関係末永く」

初の県人会世界大会盛大に



紹介され手を振り応えるメキシコ和歌山県人会メンバー

和歌山県外へ移住した人や子孫らが世界中から集う初の「県人会世界大会」の記念式典が24日、和歌山市の県民文化会館で行われた。海外8カ国280人の他、国内170人の各県人会、一般参加者ら計約2000人が交流を深め、古里への誇りを新たにした。 【7面に関連記事】

式典では、主催者し、星林高校吹奏楽を代表して仁坂吉伸部による演奏をバッ知事が「県人会の皆クに国内外の各県人さんの活躍を誇りに会が紹介されると、しながら、私たちも客席にいたメンバーその力をエネルギーが起立して手を振っに変えて頑張っていて笑顔で応えた。かなければならな県の発展に貢献しい」とあいさつ。二た14の各県人会へ、階俊博自民党幹事長仁坂知事から顕彰盾や、中山展宏外務大が贈られ、県人会を臣政務官らが祝辞代表してブラジル県人会の谷口ジョゼー眞一郎さんが「戦前移民は他界し、われら2世や3世の世代が和歌山県との関係を末永く守り、この大会をきっかけに10年先も開催できるよう祈ります」と大会を宣言し開幕した。

大会では、田辺市出身の合気道創始者「植芝盛平」について映像で足跡をたどり、少年や一般による演武が披露された。1885年にハワイへ渡った22人から始まった県人移民の歴史を映像で紹介。続いて元THE BOOMのボーカリストで、日系移民の周年祭などの式典で活動する宮沢和史さんとアルゼンチン出身の日系2世歌手の大城クラウディアさんが登場。ソロやデュエットを熱唱し、ラストの「島唄」では、和歌山児童合唱団と星林高校吹奏楽部らもステージに上がり客席と一体になって歌った。

式典後、在京和歌山県人会代表の谷口博昭さんは「初めての大会でしたが、盛り上がってとても良かった。これを機会に5年などの節目で開催ができるよう、交流を深めていきたい」と今後に期待を寄せた。

県人会の一行は27日まで、紀北・紀中・紀南の3コースに分かれて「ふるさと巡りツアー」でゆかりの地を旅する予定という。

わかやま新報　１１月２７日付

和歌山県人会世界大会　２千人参加し和市で開催（写真付）

2019年11月24日 23時20分　ニュース, 社会

和歌山県から海外へ移住した移民の子孫でつくる世界各地の和歌山県人会と日本国内の県人会のメンバーが一堂に会する世界大会の式典が、きょう（１１／２４）、和歌山市で開かれました。

この「和歌山県人会世界大会」は、海外や和歌山県外に住む県人会の人たちにふるさとへの誇りを高めてもらうとともに、県民との交流を通して、移民の歴史に対する県民の理解を深めようと、県が初めて主催したものです。

きょう午後４時から和歌山市の県民文化会館大ホールで開かれた式典には、アルゼンチンやブラジル、カナダやペルーなど海外８ヶ国・１１団体から２８０人、東京や東海など国内の県人会からおよそ１７０人、さらに和歌山県民をあわせて２０００人が出席しました。

式典では、主催者を代表して和歌山県の仁坂吉伸（にさか・よしのぶ）知事が挨拶し、「三方を海に囲まれた和歌山県民は、海の外の世界を常に意識して生活し、海外へ出た皆さんは、逞ましく今日の地位を築き、立派に生活されています。今回の交流を通じて、全世界で和歌山県民のエネルギーを発揮していただきたい」と呼びかけました。

挨拶する仁坂知事

このあと、それぞれの県人会の代表に対し、これまでの活動をたたえて、仁坂知事から顕彰の盾が贈られました。

そして県人会を代表してブラジル県人会の谷口（たにぐち）・ジョゼ・真一郎（しんいちろう）会長が、「戦争のつらい時期を経て、いまは日系の二世、三世が県人会の運営にかかわっています。これからも和歌山県とのつながりを末永く守っていきたい」と語りました。

挨拶するブラジル県人会の谷口会長

そして、式典の最後に、メキシコ県人会の寺本（てらもと）トシオさんとパラグアイ県人会のアヤカ・ビクトリアさんが大会宣言を読み上げ、同じふるさとを持つ県人会のつながりを発展させ、次の世代へ継承していくことを誓いました。

大会宣言を読み上げる寺本さん（左）とアヤカさん

引き続き行われた式典の第２部では、田辺市出身の合気道の開祖、植芝盛平（うえしば・もりへい）翁（おう）の紹介や、合気道の演武が披露されたほか、中南米在住の日本人会と交流がある元「ザ・ブーム」のボーカル、宮沢和史（みやざわ・かずふみ）さんが、星林高校吹奏楽部や和歌山児童合唱団とともにステージを繰り広げました。

インタビューを受ける宮沢さん

ステージを前にインタビューに応じた宮沢さんは、「日本人は、あまり日系移民のことを知らないし、日本の教育でも学びませんが、日系の人たちから学ぶことはたくさんあります。今回の大会が、子どもたちが海外で活躍する日本人を知るきっかけになれば」と語っていました。

また、これに先立って、県民文化会館近くにあるホテルアバローム紀の国では、紀州てまりづくりや、平安衣装の着用などを体験できる９つのブースが設置され、各地の県人会のメンバーが楽しんでいました。

醤油作りを体験する県人会のメンバー

紀州てまりづくり

在京和歌山県人会の谷口博昭（たにぐち・ひろあき）会長は、「これまでもふるさとを愛し、ふるさとへの思いを一つにしてやってきましたが、これを機に、一層、交流を深めながら、ふるさと和歌山に貢献できれば」と話していました。

式典に出席した県人会のメンバーは、あす（１１／２５）から３日間、３つのグループに分かれて県内を巡ります。

和歌山放送ニュース　11 月 25 日付

PerúShimpo

Precio: S/. 2.00 Edición Bilingüe: Depósito Legal N.° 2001-1608 Circulación: Nacional e Internacional

Año LXIX N.° 21 446 | «AÑO DE LA LUCHA CONTRA LA CORRUPCION Y LA IMPUNIDAD» | Martes 31 de diciembre del 2019

Perú participó en la Conferencia Mundial de Wakayama Kenjinkai

(pp. 8 y 9)

Volver a nuestras raíces: regresar a Wakayama

Peru Shimpo

映像資料

・きのくにインターネット放送局

https://www.youtube.com/watch?v=u1fajRPN1tE

・きのくに２１（令和元年１２月１５日放送）

https://www.youtube.com/watch?v=ulS3-vjmfNc

後援

外務省
JICA 関西
公益財団法人海外日系人協会
国立大学法人和歌山大学

和歌山県人会世界大会実行委員会

・設立趣意書

和歌山県からの海外移住者数は全国第６位で、日本有数の移民県です。海外に渡った先人は、多くの苦労を重ねながら、現在の地位を築きあげました。移民者やその子弟が設立した和歌山県人会は、現在も活動を続け、故郷を思い続けています。一方、国内にも和歌山を離れ、活躍されている方々も和歌山県人会として、同じ故郷を有する同志として、交流を深めています。

このたび、在外和歌山県人会の会長や現地で活躍する会員及び在京・東海等全国の県人会が一堂に会し、異国異郷の地で活躍する方々に敬意を表し、移民の歴史の共有と理解を深め、県内外の和歌山県人の活力を増すことを目的に和歌山県人会世界大会を開催します。

和歌山県人会世界大会を円滑かつ効果的に実施するため、和歌山県人会世界大会実行委員会を設立します。

・構成団体

和歌山県
和歌山県教育委員会
公益財団法人和歌山県国際交流協会
和歌山県市長会
和歌山県町村会
和歌山県商工会議所連合会
和歌山県商工会連合会

・開催状況

設立総会　　平成３１年３月２２日
第１回委員会　平成３１年３月２２日
第２回委員会　令和元年　９月１３日

今大会にご協力いただいた方々

語学ボランティア

和歌山大学
和歌山信愛大学
ＪＩＣＡ和歌山デスク
和歌山県中南米交流協会
日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画修了生

記念式典受付・会場運営

和歌山県商工会議所青年部連合会
青年会議所近畿地区和歌山ブロック協議会

オープニング映像協力

和歌山県立桐蔭高等学校ボート部、高野山高等高校、よさこいチーム「華酔組」、和歌山県庁相撲部、和歌山県立和歌山商業高等学校相撲部、和歌山市立西和中学校相撲部、西日本旅客鉄道株式会社和歌山支社、がんこ和歌山六三園、SHIRAHAMA KEY TERRACE HOTEL SEAMORE、紀州・白浜温泉むさし、串本海中公園、那智勝浦町観光協会、大門坂茶屋、太田の郷、和歌山マリーナシティホテル、国立大学法人和歌山大学観光学部東研究室、アドベンチャーワールド、NPO 法人日ノ岬・アメリカ村、宮北小学校少年野球部、美浜町三尾地区のみなさま

移民歴史映像協力

アルゼンチン和歌山県人会、大阪和歌山県人会、大槻幸之助資料（JICA 横浜海外移住資料館）、カナダ移民資料館、株式会社 JR 西日本コミュニケーションズ、「カルロス千代照平岡」ペルー日本人移住史料館（Museo de la Imnigración Japonesa al Perú, Carolos Chiyoteru Hiraoka）、京都和歌山県人会、神戸和歌山県人会、御坊ロータリークラブ、雑賀徹也氏蔵（データ提供：JICA 横浜海外移住資料館）、在京和歌山県人会、堺和歌山県人会、社団法人中央学園　学園長　松原佳代、太地町教育委員会、寺本就一氏、東海和歌山県人会、日刊サン所蔵（データ提供：JICA 横浜海外移住資料館所蔵）、広島市文化振興課、ペルー日本人移住資料館、メキシコ和歌山県人会、和歌山県中南米交流協会、和歌山県立図書館、和歌山市民図書館移民資料室、和歌山大学紀州経済史文化史研究所、わかやま南北アメリカ協会、Gulf of Georgia Cannery Society Archives, Martinolich Collection、Hawaii State Archives 所蔵、JICA 横浜海外移住資料館所蔵、Library of Congress, Motion Picture, Broadcasting and Recorded Sound Division, NPO 法人日ノ岬・アメリカ村

『和歌山県人会世界大会』

文：宮沢和史

音楽情報誌『月刊ラティーナ 2020 年 1 月号』より抜粋

2019 年に入り、和歌山県から自分のところに連絡がきた。なんでも、世界のウチナーンチュ大会に感動し、和歌山県でも沖縄を参考に和歌山県人会世界大会を開きたい。海外移民と交流している宮沢に歌唱で参加してもらえないか？という依頼だった。和歌山に縁もゆかりもない自分に果たして務まるのか疑問ではあったが記念すべき第一回大会に声がかかるのもご縁だと思い参加させていただいた。事前に何度か県の担当者の方々と打ち合わせを進めていく中で彼らの強い思い、懸命さに胸を打たれ、この大会が成功することをひたすら願ったが、その一方で、果たして人が集まるだろうかという懸念もあった。というのも、アルゼンチンの和歌山県人会の皆さんとこの夏にブエノスアイレスで食事をする機会があったのだが、アルゼンチンからは何人参加しますか？と尋ねると、たった 6 人～8 人だという……。今回和歌山県が式典の場として和歌山県民文化会館大ホールという立派な会場を選んだことが心配になった。海外から、そして、県内から果たして何人集まるんだろうか？日が近づくごとに段々と不安になり、正直、客席は空席が目立つだろう、後ろの方はガラガラかもしれないと覚悟した。

しかし、当日ステージに立って驚いた。結論を言うとほぼ満杯の会場は大盛況！和歌山県の方々の熱意と海外からの県人会の方々の大いなる期待が大会を大成功へと導いたのだ。式典では涙が出そうなシーンが何度もあった。自

分の出番は最後で、自分の故郷こそがどこよりも美しいと歌った「世界でいちばん美しい島」と2008年の日系ブラジル移民100周年の時に、100 年前笠戸丸でブラジルへ渡った初期移民に思いを馳せて作った「足跡のない道」そして、地元のブラスバンドの演奏、合唱隊のハーモニー、そして、海外から来たみなさんをステージに呼び込んで一緒に「風になりたい」を歌わせていただいた。この歌のこの部分がこの日はとっても身と心に染みた。

何一ついいこと なかったこの町に
沈みゆく太陽 追い越してみたい
天国じゃなくても 楽園じゃなくても
あなたに会えた幸せ感じて 風になりたい

『風になりたい』作詞作曲 宮沢和史

夜は場所を移して懇親会が行われ、そこでは「島唄」を歌わせてもらった。沖縄系の方がいない移民関連の場でこの歌を歌うこと、もっと言えば、沖縄系移民の方々がいない移民行事に自分がいることが初めてだったので非常に新鮮だった。どの国に行っても日系移民の多くを沖縄系の人が占める場合がほとんどだからだ。

翌日、県担当者の方の母校だという智辯和歌山高校にて、生徒達と各国から来た和歌山県人会の皆さんとの交流会が行われた。これが良かった。智辯和歌山高校といえば高校野球甲子園の常連。規律が厳しいことで有名だが、先生の号令に対する身のこなし、返事、半端じゃない。無駄口は一切聞かれない。超満員の講堂が水を打ったような静けさだ。今時こんな学校があるんだと大いに驚かされた。さらに、応援団とチアリーダーのパフォーマンスは圧巻だった。海外から来た県人会の皆さんは最初は度肝を抜かれたような反応だったが、どんどん誇らしげな表情になっていくのが分かった。「我らが祖国日本にもまだこんな若者達がいるんだ」ということが心の底から嬉しかったに違いない。なぜなら、和歌山県人会の一人が数年前に日本に帰った時に駅で切符の買い方が分からず、券売機の前で立ち尽くしていたら、後ろの若者に、「おせーよ 早くしろよ！」と言われ、心底ショックだったという出来事や、リオデジャネイロで出会った熊本出身の農園経営者の方は電車で隣の席の人に果物をおすそ分けしようとしたら無視されてしまった。かつての日本では分け合うことは当たり前だったの、日本は一体どうしちゃったんだ？と嘆いた。そんな話をいくつも聞いてきたからだ。

自分自身日本人として恥ずかしくなく胸がはれるキチンとした人間ではないことは自分がいちばんよく知っている。今回、一生懸命奔走する和歌山県の方々、智辯和歌山高校の生徒と、それを見て誇らしげにしている移民たちの姿を見て、改めて気付いたこと、思うこと、学ぶことがたくさんあった。和歌山に行って本当に良かった。

〒640-8585　和歌山県和歌山市小松原通一丁目１番地
企画部企画政策局国際課
TEL：073-441-2061
FAX：073-433-1192
県国際課 HP：https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/022300/d00152731.html